

社会福祉施設等の水害対策強化整備

5か年加速化対策

国土強靱化

災害時の効果発揮事例

NATIONAL RESILIENCE

概要: 土砂災害特別警戒区域内に所在した共同生活援助事業所について、豪雨災害時も安全に生活できるよう、移転改築整備を実施した。これにより、令和7年9月5日台風15号による建物被害及び人的被害を免れた。

対策名: 23-3 社会福祉施設等の耐災害性強化対策(水害対策強化対策) <5か年加速化対策>【厚生労働省】

- 実施主体: 静岡県
- 実施場所: 静岡県伊東市
- 事業概要:

土砂災害特別警戒区域内に所在した共同生活援助事業所について、迅速な避難が難しい高齢の利用者や足が不自由な利用者が豪雨災害時も安全に生活できるよう、移転改築整備を実施した。

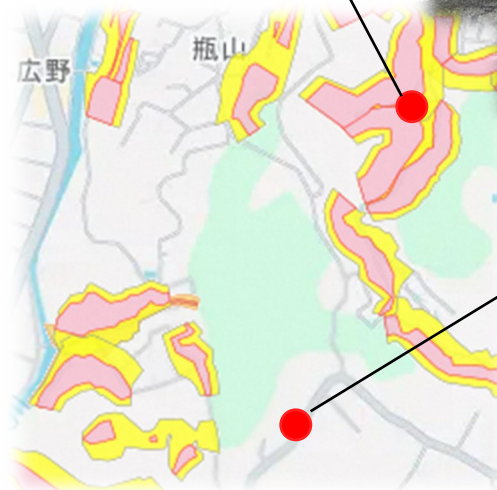
- 事業費: 125,400千円(令和4年度)
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)20,500千円)
- 災害の外力、被害と効果:

令和7年9月5日台風15号において、静岡県には線状降水帯による非常に激しい雨が降り、伊東市においては、連続雨量300mmを超える豪雨を記録した地域もあった。移転改築前の当該共同生活援助事業所敷地は土砂災害特別警戒区域に位置しており、今回の災害において、移転前の区域では河川氾濫や小さながけ崩れが生じていた。しかし、本補助金を活用し、令和5年12月に移転改築整備を完了させていたため、今回災害における建物被害及び人的被害を免れることができた。



移転前所在地

移転先



※静岡県土砂災害警戒区域マップ
静岡県地理情報システム(GIS)より